

石川県埋蔵文化財センターの令和7年度管理状況

様式1

施設所管課	教育委員会文化財課
施設管理者	公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
中期経営目標 (RO～RO)	- 入館者数を5年間で1%増加させます。 - 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	- まいぶん古代体験 古代体験コース（通年実施） 参加者 4,802人 （随時期間限定の体験メニューを実施） - 古代体験まつり（10月5日） 参加者 900人 - 古代体験学習講座等（6回） 参加者 181人 - まいぶん情報発信 発掘報告会（3月1日） 参加者 170人 - まいぶん考古学講座（3回） 参加者 64人 - まいぶん出前教室 親と子の発掘体験教室（9月20日） 参加者 49人 - 出前考古学教室（40団体） 参加者 2,337人 - その他 「石川まいぶん博士」認定によるリピーターの促進 - 発掘現場における、現地説明会（1件）参加者 100人
② 広報活動	- ホームページやSNSでイベント・体験メニュー・出前講座等の情報発信、「いしかわの遺跡」の随時更新 - 年間行事案内の配布 - マスコミへの古代体験関連の資料提供 - 所報「いしかわの遺跡」の発行 - 情報誌「石川県埋蔵文化財情報」の発行 - 新聞、広報いしかわによる情報発信 - 県内各市町、全小学校に施設見学と出前講座の案内を配付 - 出前講座において年間行事案内、「石川まいぶん博士」等のチラシ配付 - 地域情報誌、フリーペーパーへの取材協力、情報発信 - 近隣施設との連携によるポスター・チラシの掲示 - 金沢大学資料館以下10施設と連携し「石川デジタルミュージアムネットワーク」を展開

(2) 令和8年度における取組内容の見直し等

実施内容
「石川まいぶん博士認定」の取り組みなどで小学生を中心とした利用者の増加に努めているが、施設内を巡るクイズラリーの景品をカプセルトイ式に改めるなど、体験メニューがさらに子どもの興味を引くようなものになるよう工夫した。 また、例年、未就学児対象で開催する「手形・足形づくり」チラシの配布先を金沢市内の施設周辺のみだったところ、野々市市など近隣市まで拡充し周知したことで、利用者数が増加した。 様々な体験メニューなどをとおして、子どもの頃から当センターに親しんでもらい、文化財に対する関心と理解を育むことで、より一層の施設の利用促進に努める。 重要文化財「加賀郡勝示札（かがぐんぼうじふだ）」、県指定有形文化財「野々江本江寺（ののえぼんこうじ）遺跡出土品」の春・秋季公開やホール展、さらには、博物館施設等からの実物資料の貸出し依頼に協力するなど、当センターが所蔵する資料の積極的な公開・活用に努める。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1年度 (基準値)	R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基準値比	R9年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	18,834人	13,096人	13,292人	13,779人	103.7%	73.2%	19,030人
(2) 貸館稼働率(%)	—	—	—	—	—	—	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	98.9	97.0	100.0	98.0	-2.0ポイント	-1.90ポイント	95%以上
施設の維持管理(%)	98.1	94.0	98.6	95.9	-2.70ポイント	-2.20ポイント	95%以上

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	ゴールデンウィークや夏休み期間中の体験メニューの時期の見直しや期間の延長などにより利用者数が増加した。	以前は、小学校6年生の4月から日本の歴史の授業が始まり、5月に当センターに遠足に来るという流れがあり、遠足がリピーターの獲得にもつながっていたが、令和2年度以降、学習指導要領改訂により、歴史の学習開始時期が6月頃となったことから遠足の目的地から外されるようになり、団体利用者数が減少した。 若干の増加傾向にはあるが、この状況は続くものと考えられる。
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（令和7年4月～令和8年3月実施 有効回答数51件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	76.4	21.6	0.0	2.0
施設の維持管理(%)	79.6	16.3	4.1	0.0

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	・ 定期（日常）清掃 本館毎日、体験工房週3回 ・ ワックス清掃 年2回 ・ ガラス清掃 年1回 ・ ネズミ、害虫防除 年2回
(2) 設備保守点検	・ 電気設備 年6回 ・ 消防設備 年2回 ・ 昇降機設備 年12回 ・ 空気調和設備 年6回 ・ 簡易専用水道 年1回 ・ 地下タンク（灯油）年1回 ・ クレーン設備 年12回
(3) 植栽維持管理	・ 樹木剪定（36本） ・ 雪吊り（中高木21本、低木80組） ・ 除草作業（年3回）
(4) 警備	・ 夜間機械警備、設備（消防設備発報、空調設備異常）監視
(5) 小規模修繕	・ 駐車場クラック修繕 ・ 誘導灯取替修繕 ・ X線照射室・X線透視室ロスナイ換気扇取替修繕 ・ 中性能フィルター取替修繕 ・ 収蔵庫棟水銀灯更新修繕 ほか

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・ 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター執務体制要領の策定 ・ 熱中症講習会の実施（5月14日） ・ 救急法講習（4月16日、5月23日） ・ シェイクアウトいしかわ（7月8日） ・ 産業医発掘現場指導（9月10日） ・ 消防訓練の実施（11月14日）
(2) 個人情報の管理状況	・ 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター個人情報保護規程を定め適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合 計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項 目	収入額	減免額	減免理由
合 計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	85,136	人件費	15,278
利用料収入		光熱水費	19,986
その他		修繕費	25,600
		その他	24,272
合 計 ①	85,136	合 計 ②	85,136
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和7年6月	費用がかかるかも知れないが音声にて説明があると良いと思います。	・展示に対する一つの意見として、今後に生かしていきたい。
令和7年6月	展示物をふやしてほしい	
令和7年7月	展示品が少ないように思います	
令和7年8月	器のうらがわなどもみたくので、アンドンでの展示を増やしてほしい 器の断面をかんさつできるようにしてほしい (製造工程が推察できるように)	
令和7年8月	(展示物について) 360° 1周をみることができると良い	
令和7年8月	パズルのようなものがほしいと思った。	
令和7年7月	故障している物がある	・既に修理ができないほど古い機械であり、今年度中に撤去する予定。
令和7年8月	展示の一部が故障していたので直して欲しい	
令和8年2月	故障中の物を直していただきたい	
令和7年10月	この施設を知らない人が多いのではないかもっとPRしたらどうですか	・情報発信の強化に努める。
令和7年8月	入口の自動ドアの開閉の音がとても騒がしい。故障なら修繕した方が良い。	・設備の老朽化によるものであり早期の対応は困難であるが、適切な管理に努めていきたい。
令和7年12月	2階だけ暖かい。1階寒い。	・適切な温度管理に努める。
令和8年2月	1階と2階の温度差をなんとかならせないかと思います。	
令和7年7月	図書室あつい！！ 図書室をよりオープンなものにするために県立図書館のような資料を自分で探せるシステムがあればよい	・一つの意見として、今後に生かしていきたい。
令和7年6月	虫がとても多かった。広場の虫を減らしてほしい。	・古代住居内を定期的に燻煙したり、ひろば内に不快害虫駆除剤を設置するなど適切な管理に努める。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応

8 その他報告事項など

要記入基本協定（仕様書）の規定により、毎月施設管理作業確認表を作成し、実施状況を報告。

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・情報発信の強化による啓発、親子・家族連れを対象にした古代体験メニューの充実や展示品の随時入れ替えなどによる対象の拡大と啓発を継続して図るほか、利用者アンケートから要望を把握し、より快適な環境整備に努めている。 ・親しみやすい雰囲気創出のため、来館者をはじめとした本センターに興味を持った方々に対し、わかりやすく、丁寧に対応するよう職員の接遇向上に努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	・維持管理業務については、専門性、効率化等を考慮し、適正に委託を実施しているほか、定期的に職員が施設・設備の安全点検を実施し、修繕等にも的確、迅速に対応している。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、引き続き来館者用に消毒液の設置や定期的な換気等を行う等、適切な施設環境を維持できるよう努めている。
(3) 管理運営体制	B	・適切な職員の配置がなされ、職員の資質向上のため業務に関する研修会・講習会を開催している。また、災害に対応するため、執務体制要領を作成するとともに、防災訓練を実施している。 ・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター個人情報保護規定事務要綱を定め、職員に周知徹底をはかり、適切な情報管理を行っている。
総合評価	B	・埋蔵文化財の発掘調査、出土品の整理、保存、収蔵管理及び普及啓発を行うとともに、施設の設置目的に合致した適切な管理運営を行っている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

特になし